

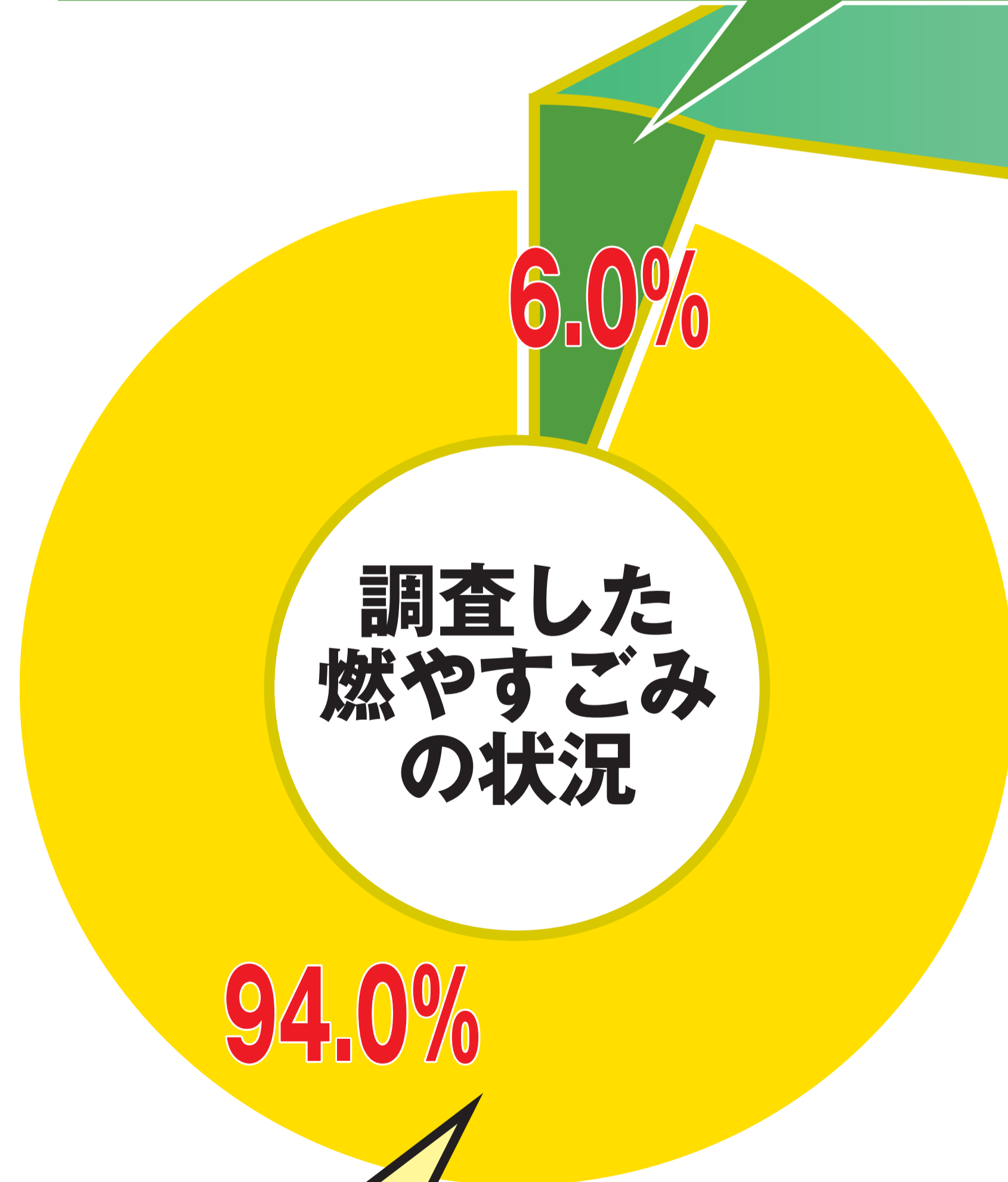
平成30年度

飯田市「燃やすごみ」組成調査の結果

平成30年6月4日から7月23日の期間内に、飯田市内のごみ集積所から調査目的で無作為に回収した燃やすごみ(各地区10袋)の組成調査を実施しました。

「燃やすごみ以外のごみ」の混入割合は、前年度と比べて3ポイント改善し、全体の6.0%となっています。

燃やすごみに混入していた他の区分のごみ



正しく分別されていた燃やすごみ (うち食品ロス3.0% ※3)

せともの、ガラス製品、
小型家電品、混合物 **7.6%**
→埋立ごみとして排出すべきもの

ペットボトル(きれいなもの) **2.8%**
→第1～第4土曜日に実施している
リサイクルステーションへ排出すべきもの

乾電池・ライター **1.1%**
→特定ごみとして
排出すべきもの

金属類 **8.3%**
→本来は、資源ごみ(金属)
として排出すべきもの

紙類 **63.7%**
→資源ごみ(紙)として
排出すべきもの(※1)

プラマークの表示がある
容器包装(きれいなもの) **16.6%**
→資源ごみ(プラマーク)
として排出すべきもの(※2)

燃やすごみに
混入していた
ごみの内訳



特に多く混入していたごみの正しい出し方

- ※1 紙類(ティッシュやお菓子の空き箱、紙袋など)
→新聞紙・段ボール・その他紙の3種類に分け、ひもで十字にしぼって資源ごみ(紙)として排出してください。
- ※2 プラスチック製容器包装(きれいなもの)(コンビニ弁当容器、洗剤等の空き容器、お菓子の包装フィルム、ペットボトルのラベルやキャップ)
→水で1回程度ゆすぎ、汚れが落ちた場合は資源ごみ(プラマーク)の袋へ入れて排出してください。汚れが落ちなかった場合は、燃やすごみへ分別して排出してください。

食品ロス削減にご協力ください

- ※3 食品ロス(まだ食べられるのに捨てられてしまっている食品) **3.0%**
→未開封のお菓子やお惣菜、手つかずの野菜や果物などの「食品ロス」が、燃やすごみで3.0%見られました。食品の買い過ぎ、作り過ぎ、注文し過ぎに注意して、食品ロスを削減しましょう。



「もったいない」の
気持ちを大切に